

# 第4次総合計画 管理事業を構成する予算事業の評価シート

評価対象年度 平成30年度

施策コード	331	施策	地域福祉の推進
管理事業	社会福祉事業		2 枚のうち 1 枚目

事業名	所管室課	事業概要(事業の具体的な内容を端的に記入)	実施区分
① 福祉保健サービス苦情処理事業	福祉総務課	市が行った福祉保健サービスの内容等の苦情申立について、福祉オンズパーソンが公正・中立な立場から内容を調査・審査し、必要に応じて市に対する是正勧告、制度の改善に係る提言を行う。	市が独自に実施している事務
決算額(事業費)	事業自体の課題や対応状況・施策推進への貢献に関する課題		今後の方向性
平成 30 年度	<input type="checkbox"/> 市民ニーズ、社会的役割 <input type="checkbox"/> 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> 公平性 <input type="checkbox"/> 持続可能性 ※課題があるものは■	・平成30年度は苦情申立がなかったことから、事業費は発生していない。 ・行政に対する権利利益の救済手段としては、行政不服審査法に基づく審査請求等、様々な制度があるが、吹田市福祉オンズパーソン制度は、職員では対応が困難な苦情を福祉オンズパーソンが公正・中立な立場で処理することにより、市民の権利利益を擁護し、公正・公平な市政を推進できると考えられる。 ・苦情申立は、原則書面で行い、福祉オンズパーソンとの面談日は予約制で実施しているため、円滑な利用に向けて細かな事務処理面の改善が必要である。	継続
0			

事業名	所管室課	事業概要(事業の具体的な内容を端的に記入)	実施区分
② 社会を明るくする運動事業	福祉総務課	犯罪や非行の防止、罪を犯した人たちの更生に対する住民の理解を深めるため、毎年7月を強調月間として駅頭啓発、市民集会や地域集会の実施等、法務省主催の「社会を明るくする運動」を推進する。	市が独自に実施している事務
決算額(事業費)	事業自体の課題や対応状況・施策推進への貢献に関する課題		今後の方向性
平成 30 年度	<input type="checkbox"/> 市民ニーズ、社会的役割 <input type="checkbox"/> 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> 公平性 <input type="checkbox"/> 持続可能性 ※課題があるものは■	・「社会を明るくする運動」の認知度向上のため、駅頭啓発や市民集会については、より効果的・効率的に開催できるよう、実施方法や開催場所を検討する必要がある。 ・地域集会については、全地区での開催が望ましいと考える。	継続
452			

事業名	所管室課	事業概要(事業の具体的な内容を端的に記入)	実施区分
③ 日常生活自立支援事業補助事業	福祉総務課	認知症や障がい等により判断能力が十分でない人が地域で安心して生活できるよう、福祉サービスの利用援助や日常的な金銭管理等の日常生活自立支援事業を行う吹田市社会福祉協議会に対し、事業に要する経費の一部を補助する。	市が独自に実施している事務
決算額(事業費)	事業自体の課題や対応状況・施策推進への貢献に関する課題		今後の方向性
平成 30 年度	<input type="checkbox"/> 市民ニーズ、社会的役割 <input type="checkbox"/> 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> 公平性 <input type="checkbox"/> 持続可能性 ※課題があるものは■	・吹田市社会福祉協議会は、社会福祉法に基づき設置された地域福祉の推進を図ることを目的とする団体であり、本市の地域における福祉活動推進の中核的な役割を担っている。 ・同協議会の実施する日常生活自立支援事業は、利用希望者が増加傾向にあり、恒常的に待機者が発生している。 ・今後も、高齢化の進展等により本事業の利用希望者は増加する見込であり、これまでに以上に効率的な事業運営が求められる。	継続
12,926			

事業名	所管室課	事業概要(事業の具体的な内容を端的に記入)	実施区分
④ 地域福祉計画推進事業	福祉総務課	地域福祉計画推進委員会において地域福祉計画の策定や進捗管理に係る審議を行う。また、地域福祉推進のための市民啓発として、福祉に関する意識啓発や地域福祉市民フォーラムを実施する。	市が独自に実施している事務
決算額(事業費)	事業自体の課題や対応状況・施策推進への貢献に関する課題		今後の方向性
平成 30 年度	<input type="checkbox"/> 市民ニーズ、社会的役割 <input type="checkbox"/> 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> 公平性 <input type="checkbox"/> 持続可能性 ※課題があるものは■	・現計画である「第3次地域福祉計画」は令和2年度(2020年度)が計画終期であり、令和元年度(2019年度)から令和2年度の2年間で次期計画を策定する必要がある。 ・策定に当たっては、地域社会を取り巻く環境の変化や国が掲げる「地域共生社会」の重要性を踏まえ、住民が主体的に地域の課題解決に向けて活動できる体制の整備に向けた検討が必要である。 ・計画の実現に向けては、市民と行政との協働の促進が重要である。	継続
378			

事業名	所管室課	事業概要(事業の具体的な内容を端的に記入)	実施区分
⑤ 地域支えあいネットワーク推進事業	福祉総務課	コミュニティソーシャルワーカー(CSW)等を配置し、地域の総合相談・支援を行い、地域団体や専門機関、地域包括支援センター等と連携しながら、地域の支えあいネットワークづくりを進める。	市が独自に実施している事務
決算額(事業費)	事業自体の課題や対応状況・施策推進への貢献に関する課題		今後の方向性
平成 30 年度	<input type="checkbox"/> 市民ニーズ、社会的役割 <input type="checkbox"/> 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> 公平性 <input type="checkbox"/> 持続可能性 ※課題があるものは■	・CSWは、地域における福祉分野の総合的な相談の窓口として、市民からの様々な相談を受け、適切な行政サービスにつなぐ役割を担っている。 ・地域住民同士のつながりが希薄化するとともに複合的な課題を抱える市民が増加する中、市民が気軽に相談できるように本事業やCSWの認知度向上を図るとともに、多様な相談内容に対応し、関係団体・機関との連携が推進できるよう、引き続きCSWの資質向上や重層的な支援ネットワークの構築を進める必要がある。	拡充
90,616			

事業名	所管室課	事業概要(事業の具体的な内容を端的に記入)	実施区分
⑥ 災害時要援護者支援事業	福祉総務課	災害時に支援を必要とする人(災害時要援護者)に対する支援体制を構築する。	市が独自に実施している事務
決算額(事業費)	事業自体の課題や対応状況・施策推進への貢献に関する課題		今後の方向性
平成 30 年度	<input type="checkbox"/> 市民ニーズ、社会的役割 <input checked="" type="checkbox"/> 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> 公平性 <input type="checkbox"/> 持続可能性 ※課題があるものは■	・災害対策基本法の改正に伴い、災害時要援護者名簿の作成、名簿情報の避難支援関係者への提供等が規定され、年々業務量が増加している。 ・昨年の大阪府北部地震等の発生から、改めて災害時要援護者支援の課題が浮き彫りとなり、これまでに以上に関係機関等や地域との連携のもと、あらゆる取組を推進していく必要がある。 ・導入から一定期間が経過した災害時要援護者名簿作成等に係るシステムは、改修若しくは再構築に向けた検討が必要である。	拡充
746			

## 上記以外の予算事業

※ 施策番号900番、昨年度で廃止した事業、指定管理者制度導入施設の管理運営事業などの評価対象外事業はこちらに記入。

事業名	所管室課	事業名	所管室課
一般事務事業	福祉総務課		
災害ボランティアセンター等運営事業(大阪府北部地震関連)	福祉総務課		
災害ボランティアセンター等運営事業(平成30年台風21号関連)	福祉総務課		
還付事業	福祉総務課		

# 第4次総合計画 管理事業を構成する予算事業の評価シート

評価対象年度 平成30年度

施策コード	331	施策	地域福祉の推進
管理事業	社会福祉事業		2 枚のうち 2 枚目

事業名	所管室課	事業概要(事業の具体的な内容を端的に記入)	実施区分
⑦ 地域福祉推進活動補助事業	福祉総務課	地域における住民同士の交流促進のため、社会福祉法人吹田市社会福祉協議会が実施する地域福祉推進活動に対し、実施に要する経費の一部を補助する。	市が独自に実施している事務
決算額(事業費)	評価の視点		今後の方向性
平成 30 年度	<input type="checkbox"/> 市民ニーズ、社会的役割 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 持続可能性 ※課題があるものは■	事業自体の課題や対応状況・施策推進への貢献に関する課題 ・吹田市社会福祉協議会は、社会福祉法に基づき設置された地域福祉の推進を図ることを目的とする団体であり、本市の地域福祉推進の中核的な役割を担っている。 ・同協議会が行う地域福祉推進活動や地区福祉委員会が中心となって行うふれあい昼食会や子育てサロンなどの小地域ネットワーク推進活動は、地域における住民同士のつながりづくりに大きく貢献している。今後とも補助内容を精査したうえで適切な支援を行う必要がある。	継続
(千円)			
62,369			

事業名	所管室課	事業概要(事業の具体的な内容を端的に記入)	実施区分
⑧ 福祉活動補助事業	福祉総務課	吹田市民生・児童委員協議会が行う児童健全育成に関する啓発活動等、地域福祉の推進に関する社会福祉活動を行う福祉団体に対し、活動に要する経費の一部を補助する。	市が独自に実施している事務
決算額(事業費)	評価の視点		今後の方向性
平成 30 年度	<input type="checkbox"/> 市民ニーズ、社会的役割 <input type="checkbox"/> 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> 公平性 <input type="checkbox"/> 持続可能性 ※課題があるものは■	事業自体の課題や対応状況・施策推進への貢献に関する課題 ・本事業において補助を受ける吹田市民生・児童委員協議会等の社会福祉団体は、それぞれの分野において、地域福祉の増進を目的に活動している。 ・各団体の活動が効果的に実施されるよう、補助内容を精査したうえで適切な支援を行う必要がある。	継続
(千円)			
12,595			

事業名	所管室課	事業概要(事業の具体的な内容を端的に記入)	実施区分
⑨ 地域福祉推進事業積立事業	福祉総務課	市民や事業者等からの地域福祉推進のための寄附金を、地域福祉基金に積立てるとともに、基金の利子を地域福祉推進のための事業に活用する。	市が独自に実施している事務
決算額(事業費)	評価の視点		今後の方向性
平成 30 年度	<input type="checkbox"/> 市民ニーズ、社会的役割 <input type="checkbox"/> 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> 公平性 <input type="checkbox"/> 持続可能性 ※課題があるものは■	事業自体の課題や対応状況・施策推進への貢献に関する課題 ・同基金を活用し市が普通財産として取得した土地について、定期借地契約により民間事業者に賃貸することに伴う貸付料収入相当額についても積立している。 ・基金を運用し、その利益を地域福祉推進のための事業に充てる等により本事業は適正に実施されている。 ・基金については、運用益を地域福祉推進のための事業に充当しているが、近年の預金利率の低下など、資産運用上の課題がある。	継続
(千円)			
9,932			

事業名	所管室課	事業概要(事業の具体的な内容を端的に記入)	実施区分
⑩ 社会福祉法人等認可・指導監査事業	福祉指導監査室	社会福祉法人の設立認可及び指導監査、児童福祉施設の指導監査、指定居宅サービス事業者及び指定障がい福祉サービス事業者等の指定・指導監査等を行う。	事業全体が法定事務
決算額(事業費)	評価の視点		今後の方向性
平成 30 年度	<input type="checkbox"/> 市民ニーズ、社会的役割 <input type="checkbox"/> 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> 公平性 <input type="checkbox"/> 持続可能性 ※課題があるものは■	事業自体の課題や対応状況・施策推進への貢献に関する課題 認可・指定・届出等に係る事務は法律等で定められており、指導監査等における実施手順については概ね確立しているものの、監査対象となる施設や事業所が増加傾向にあるため、より効率的な指導監査の手法等を取り入れながら、適宜事務の改善に努めることとする。	継続
(千円)			
9,142			

事業名	所管室課	事業概要(事業の具体的な内容を端的に記入)	実施区分
⑪ さんくす事務室管理事業	福祉指導監査室	さんくす事務室の維持管理を行う。	市が独自に実施している事務
決算額(事業費)	評価の視点		今後の方向性
平成 30 年度	<input type="checkbox"/> 市民ニーズ、社会的役割 <input type="checkbox"/> 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> 公平性 <input type="checkbox"/> 持続可能性 ※課題があるものは■	事業自体の課題や対応状況・施策推進への貢献に関する課題 主な支出が「資料や共益費等の施設に係る固定経費となっていることから、エコオフィス活動の意識を一層高め節電に取組むことで、運用コストの削減を図る。	継続
(千円)			
6,641			

事業名	所管室課	事業概要(事業の具体的な内容を端的に記入)	実施区分
⑫ 戦没者追悼式実施事業	生活福祉室	先の大戦での戦没者、原爆死没者ならびに戦争犠牲者に対し追悼の誠を捧げ、恒久平和の誓いをこめて追悼式を開催する。	市が独自に実施している事務
決算額(事業費)	評価の視点		今後の方向性
平成 30 年度	<input type="checkbox"/> 市民ニーズ、社会的役割 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 持続可能性 ※課題があるものは■	事業自体の課題や対応状況・施策推進への貢献に関する課題 戦没者遺族の高齢化に伴う参列者の減少等の問題はあるものの、単なる式典の開催にとどまらず、平和について考える重要な契機となっている。今後において、本事業の開催意義について、積極的に発信を行っていく必要がある。	継続
(千円)			
872			

上記以外の予算事業

※ 施策番号900番、昨年度で廃止した事業、指定管理者制度導入施設の管理運営事業などの評価対象外事業はこちらに記入。

事業名	所管室課	事業名	所管室課